

支 援

学校支援ボランティアコーディネーター説明会

本年度の地域学校協働活動は、新規着任者8名を含む総勢92名のボランティアコーディネーター（VC）によって推進されます。そのスタートとなる2019年度学校支援ボランティアコーディネーター説明会が、4月11日（木）に教育センターの大会議室で開催されました。

金木圭一指導課長は挨拶の中でVCの皆さんへの敬意を表明するとともに、VCの役割について簡潔に説明をいたしました。

「……町田市の教育振興基本計画である『町田市教育プラン2019-2023』が策定され、4月から推進されています。地域学校協働活動はその中の基本方針Ⅲ『家庭・地域の教育力を向上させる』と位置づけられている取り組みです。VCの皆さんは地域のヒト、モノ、コトをつなぐ役割を地域連携担当教員、地区統括VCらと相談しながら担ってください。子どもは地



域で育ちます。地域の中に学校はあります。子どもも大人も町田市を誇りに思い、町田市で生活することに喜びを感じてほしい。そのように私は願っています。

社会の変化に伴い、子どもたちと異年齢の方々とのかかわりは希薄になっているのではないでしょうか。今の子どもたちが社会で活躍するところには、今ある職業が無くなったり、職業があったとしても働き方が変化したりするという予測がございます。そんな時代が近いうちに来ます。だからこそ、子ども時代から、幼児から高齢者までのかかわりや、様々な職業を知ること、地域の伝統文化などへの多くのかかわり、多くの体験が必要と考えております。学校・家庭・地域が縦がかりで子どもを育てることを通じて、学校も家庭も地域も育つ、その中で育った子どもたちが将来の町田市・地域を支え、受け継いで行くコミュニティーの広がり、横の

つながりのみならず、時代を超えたつながりにもなるのではないかと考えております。

VCには学校からの要請に応じて支援していただくとともに、自分の置かれている学校・地域の特色からできることの提案もあろうかと思えます。皆様方の知恵を学校教育にお貸しください。……」

委嘱書は、本年度の新規着任者のおひとりである町田第五小学校の西森久美子ボランティアコーディネーターが、VC全員を代表して受け取られました。

引き続き宇野賢悟統括指導主事が、2008年学校支援実行委員会の発足から現在、そして将来に亘る学校支援事業に関する概括的な説明をするとともに、学校支援事業の意義について



述べました。

「……子どもたちの立場から学校支援の取り組みを考えると、かかわってくださるボランティアの皆さんは普段接している家族や学校の先生方とは違う大人の方々です。家庭や通常の授業では学ぶことのできないことを教えてくださる貴重な方々ということです。ボランティアの方々との出会い、ふれあいは子どもたちの学習面の成長、

また多くの大人の方々に支えられているという安心感、地域を愛する心などを子どもたちに育む大変貴重な機会です。その出会いの場、ふれあいの場の設定に力を尽くしてくださるVCの存在は、子どもの成長にとって本当にたいへん意味のあるものであると思っています。……」

さらに、2019年度事業について、活動の意義・目的や進め方、事務処理手続きなどを中心に担当者より説明がされました。

「……予測のできない不確実な社会に生きることになるであろう子どもたちには、直面する課題を見つけ、その解決をすることのできる力、つまり確かな学力を身につけることが望まれます。そのために必要な基礎学力習得の支援、考え深い学びや豊かな体験活動の支援を、学校のみでなく地域の教育力に依拠して進めようとする活動です。VCは学校と地域をつなぐ役割を果たしていただくものであり、学校と地域が協働して子どもを育てる要となっていくものです。

これは、学校のみでできるものよりも遥かに深く豊かな学びの場を学校に用意する支援であると同時に、学校が地域住民の力を発揮する場となることでもあり、また地域住民との接触を通し、地域社会の一員たる子どもを育てる場となるものです。さらに、VCを仲立ちに地域住民が支える学校は、地域の子どもの学習を継続的に進める地域の学校となります。

こうした学校支援センター事業（地域学校協働活動）の目標の実現に向け、大きな原動力となるのがVCです。

町田市では全校において年間指導計画に基づく計画的・系統的な学校教育活動として地域学校協働活動が展開されます。そのために、知らせる、つなげる、支える活動をさらに活発に展開していただきたく、お願いいたします。……」

続いて、VCの定型業務、事務処理等についての説明、そして3R推進課からの「ごみと環境についての出前講座」、FC町田ゼルビアからの「ふれあいゼルビア学校訪問」についての説明がされました。最後に新規に着任された学校支援ボランティアコーディネーター、また地区統括ボランティアコーディネーターがそれぞれに紹介され、説明会は終了となりました。

学校支援ボランティアコーディネーター基礎研修

主に1・2年目のVCを対象にした「学校支援ボランティアコーディネーター基礎研修」が2回に亘って行われました。

第1回は5月14日（火）に町田市役所市民協働おうえんルームで、講義と協議が受講者9名の参加のもとに進められました。報告書作成などのVCの定型業務、想定される活動のあれこれ、学校を知るための手立てのあれこれについてなど、基礎的・基本的な、しかし必須の活動の概要が事務局から説明された後、経験豊かな木曽境川小学校VC・金井中学校VCからそれぞれ実践の報告とそれに裏打ちされた助言がされました。

グループに分かれての協議・情報交換では地域学校協働活動に対する学校の理解の状況、学校とVCとのかかわりの在り方、VC間のそれも含めた情報の共有の工夫などについて深い話し合いが行われました。経験豊かなVCが異口同音に地域の人々との交流の大切さを強調されてきたことは印象的でした。参加者からも意欲的な声などが寄せられました。



- 出すぎず、でも、先生がスムーズに授業を進められるよう、コーディネートしたい。
- VCの役割と、先生のやることのバランスがわからない時がある。
- 継続で築いていける きずな が大きいと思いました。
- 地域の方、PTAでのつながりがとても大事だということがわかりました。

- VC の横の連絡が重要だと思う。情報交換はたえず行いたい。

第2回は5月21日(火)に町田市教育センターでPC操作研修が、7名のVCの参加で開催されました。学校支援ネットワーク(MGN)の活用に向けての初歩的な研修です。システムへの入り口となるグローバルポータルの開き方、メールの使い方、※ボランティア人材データベースの使い方についての実技研修、またファイル機能の紹介、エクセルを使っでの活動月報の作成方法の紹介、スケジュール機能の紹介などの講習が行われました。

※ボランティア人材データベースの利用

町田市学校支援センターに登録されているボランティア活動志望者の情報を一覧できます。

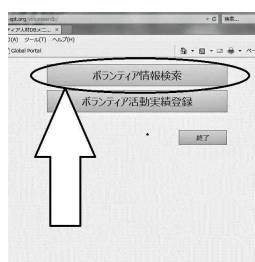
- 1 Global Portal (グローバルポータル) のメイン画面を開く。
- 2 メイン画面の左下にある「外部アプリケーション」の「町田市人材DB」をクリックする。

(図 A)

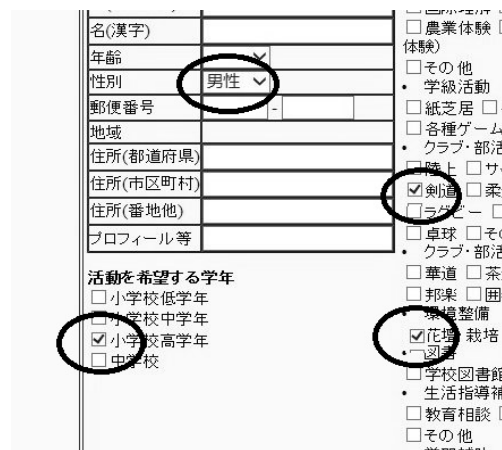
- 3 「ボランティア情報検索」をクリックし、検索条件入力画面を表示する。(図 B)
- 4 検索条件をそれぞれ、直接入力、或いはプルダウンメニューから選択、または項目チェック(し点入力)し、画面右下の「検索」をクリックする。(図 C)
- 5 指定した検索条件に該当するボランティア活動志望者が表示される。
- 6 画面右の「詳細」をクリックすると当該志望者の更に詳細な情報が表示される。



(図 A)



(図 B)



(図 C)

- 註 (1)記載されている情報は登録時のものです。現時点での条件とは異なる場合があります。
- (2)生年月日が登録されていない志望者の場合、年齢欄には登録年以降の経過年数が表示されます。